

◆やまなし GX(グリーン・トランスフォーメーション)推進コンソーシアムとは

山梨県森林環境部 地域エネルギー推進室 野矢大輔

●やまなし GX 推進コンソーシアムについて

山梨県における脱炭素化と経済成長の両立を目指す「GX(グリーン・トランスフォーメーション)」を推進するため、2025 年 4 月 17 日に「やまなし GX 推進コンソーシアム」が設立されました。山梨県をはじめ金融機関、商工団体、設備工事業者団体など 16 団体が参画し、地域一体となって県内中小企業の GX 推進を支援しています。



★やまなし GX 推進コンソーシアム設立

●なぜ今、GX が必要なのか

県内の CO₂排出量のうち、企業活動による排出量は全体の 42.6%を占めており、脱炭素社会の実現に向けて企業の GX 推進が重要な課題となっています。また、エネルギー価格の高騰や気候変動への対応に加え、近年では大企業を中心に取引先企業へ脱炭素への取り組みを求める動きが広がっています。

GX は環境対策にとどまらず、エネルギーコスト削減や経営効率化、企業価値の向上、人材確保・定着、取引先からの信頼向上など、企業の競争力強化につながる重要な経営戦略です。

一方で、中小企業では GX の必要性を感じながらも、具体的な取り組みに至っていない企業が多い状況にあります。山梨県では企業数全体の 99.9%を中小企業・小規模企業が占めていることから、県内中小企業における GX 推進は地域経済の活性化と持続的な成長に不可欠な取り組みとなっています。

●オール山梨で中小企業を支援

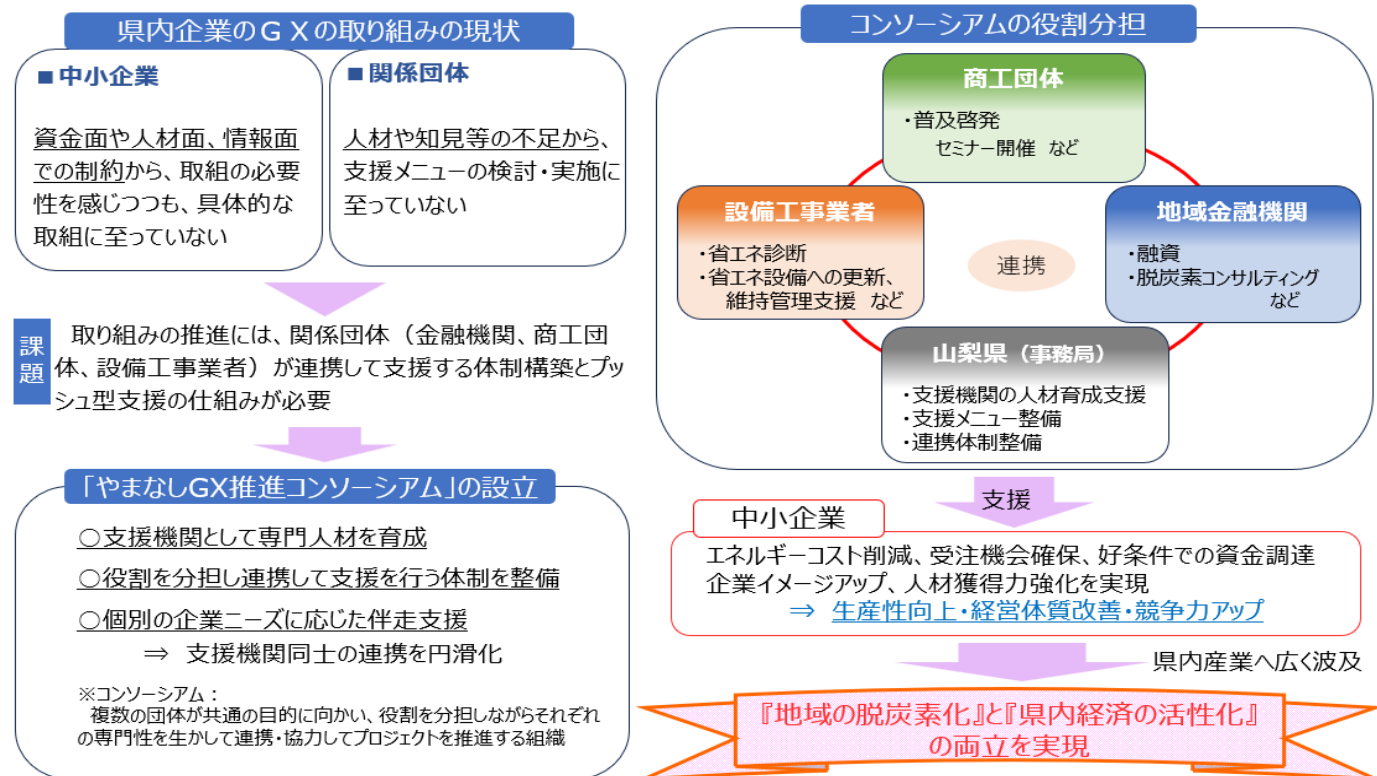
中小企業が GX に取り組めない理由として、「何から始めればよいかわからない」「参考となる事例が少ない」「専門知識や人材が不足している」といった課題が挙げられています。また、支援機関側においても GX に関する知見や支援体制が十分ではなく、支援が分散している状況がありました。

こうした課題を解決するため、やまなし GX 推進コンソーシアムでは、金融機関、商工団体、設備工事業者など、企業と日頃から接点を持つ支援機関が連携し、県内企業の GX 推進を総合的に支援する体制を構築しています。

3 か年計画で、企業ごとの課題や状況に応じたオーダーメイド型の支援を実施するとともに、プッシュ型による切れ目のない伴走支援を行い、脱炭素経営のメリットを実感できる環境づくりを進めています。



★全体会議の様子



●「知る・測る・減らす」で未来へ

やまなし GX 推進コンソーシアムでは、企業の GX を「知る」「測る」「減らす」の 3 つのステップで支援します。

まず「知る」では、セミナーや個別相談等を通じて GX に関する知識や最新動向、先進事例を提供し、理解促進を図ります。

次に「測る」では、自社の CO₂排出量の見える化を支援し、現状を把握したうえで課題や改善の方向性を明確にします。

そして「減らす」では、省エネルギー設備や再生可能エネルギーの導入、省エネ運用改善など、具体的な排出削減の取り組みを支援します。

さらに、見える化にとどまらず、削減計画の策定や実行、取組内容の情報開示までを見据えた支援を行い、県内企業のロールモデルを創出・横展開することで、地域全体の GX 推進につなげていきます。

やまなし GX 推進コンソーシアムは、県内企業の持続的な成長と地域経済の発展、そして脱炭素社会の実現に向けて、オール山梨で中小企業の GX を力強く支援していきます。

<プロフィール>

野矢大輔

山梨県森林環境部地域エネルギー推進室技師（電気）。大学では電気電子工学を専攻し、パケットセンシングによる人流計測・分析を研究。現在は脱炭素化に関する推進を担当。